

アルミニウム合金製  
伸縮作業台 (PD)

コンスミニ

## 取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。  
この取扱説明書は、本製品の使いかたと  
使用上の注意事項について記載しています。  
ご使用前は、必ずこの取扱説明書をよく  
お読みいただき事故が起こらないよう、  
内容にしたがって正しくお使い下さい。  
また、お読みになった後も、この取扱説  
明書をすぐに取りだせるところへ大切に  
保存して下さい。



株式会社 ナカオ



- アルミニウム合金製伸縮作業台「コンスミニ」は、正しく使われないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは本製品の安定した状態を確認して下さい。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても、責任を負いかねますのでご了承下さい。

# もくじ

---

表示マークについて	2
各部のなまえ	3
安全のために、必ず守っていただきたいこと	4
1. 使用条件について	4
2. ご使用になる前に	5
3. 運ぶときは	5
4. 設置する場所について	6
5. 作業台を設置するとき	7
6. 登り降りや作業をするとき	7
ご使用前の点検（日常点検）	9
1. 目で見て点検	9
2. 伸縮脚と脚調節装置の点検	10
3. 触って点検	10
設置場所について	11
作業台の使い方	12
1. 伸縮脚の伸ばしかたと縮めかた	12
2. 登りかた・降りかた・作業のしかた	13
使用後のお手入れと保管のしかた	14
1. お手入れのしかた	14
2. 保管のしかた	14
故障かな？と思ったら（不調診断）	15
MEMO	16
MEMO	17

# 表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている

⚠マーク付の説明は、安全上特に重要な項目ですから、必ずお守り下さい。



記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。



記載されている内容を守らなければ、死亡や損害事故が生じる危険のあることを示します。



記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。

※破損したままで使用しますと、転倒や転落による事故の原因となります。



禁止

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。



強制

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

＜絵表示について＞

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には、下記の意味があります。



感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触ると感電して危険であることを注意しています。



手をはさまないよう注意

スライドする箇所や可動する箇所では、手をはさむ恐れがあることを注意しています。



背面降り禁止

天板から降りるとき、背面降りすると身体が不安定になり、足を踏みはずして転落の恐れがあることを注意しています。



開き止め用ストッパー  
ピンのロックに注意

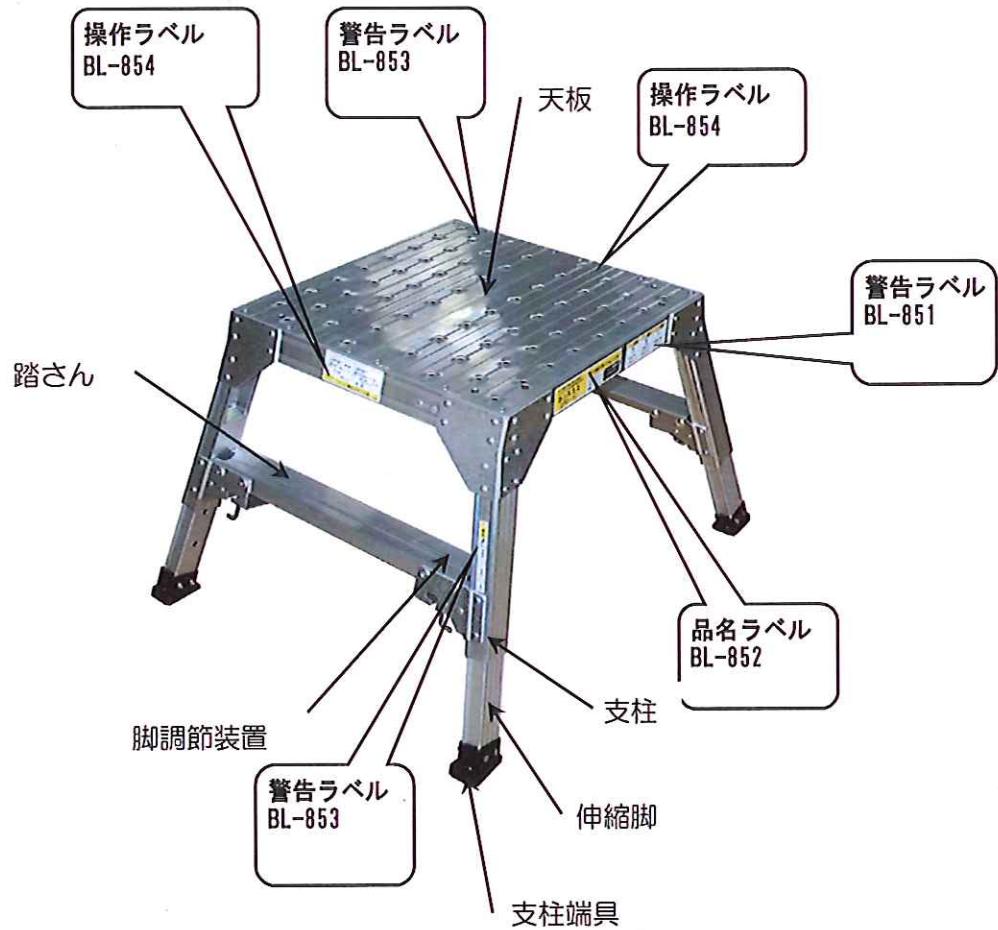
使用状態にしたとき、開き止め用ストッパー ピンが確実にロックされているか確認の注意をしています。



天板の上で爪先立ちするな

天板の上で爪先立ちすると身体のバランスを崩して転倒する危険があることを注意しています。

# 各部のなまえ



# 安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

## 1. 使用条件について

**⚠ 警告** 作業台としての用途以外の使いかたをしないで下さい。

この製品は、建築物等の天井または壁面等の作業に使用する為の足場として作られたものです。

使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

**⚠ 警告** 積載荷重150kgf(1470N)を守って下さい。

体重と荷物の合計重量が積載荷重を超えるときは、使用しないで下さい。  
また、荷物は身体の安定が保てる程度の大きさや重さにして下さい。

**⚠ 注意** 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなったりした製品は使わないで下さい。

必ず弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使って下さい。

※ラベルを取り寄せる時は、ラベルのナンバー(3ページ参照)をご覧下さい。

**⚠ 警告** 作業台を加工や改造しないで下さい。

重大事故を起す恐れがあります。

**⚠ 注意** 作業に適した服装で使って下さい。

作業を行う際は、ヘルメット・安全靴等の安全具を着用し、正しい服装(作業服)で作業を行って下さい。

**⚠ 注意** 身体が下記の状態のときは使わないで下さい。

- 疲れているとき
  - 薬やお酒を飲んだとき
  - 病気や妊娠しているとき
  - 身体に異常を感じるとき
- 身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。



**⚠ 注意** お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には使わせないで下さい。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要な事が書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

**⚠ 警告** この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で、特に重要なことが書かれていますのでよく理解のうえ使うように指導してください。

# 安全のために、必ず守っていただきたいこと

## 2. ご使用になる前に

⚠️ 警告 使う前には必ず「ご使用前の点検(9、10ページ)を行い、異常のないことを確認して下さい。

異常のあるときは、絶対に使わないで下さい。  
重大な事故につながる恐れがあります。



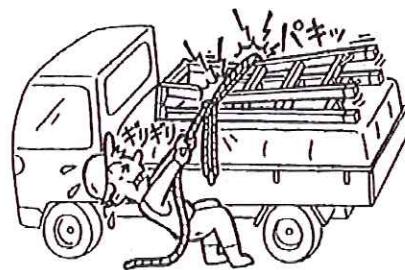
⚠️ 警告 変形した作業台を使わないで下さい。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度が著しく低下します。したがって変形した製品を修正して使いまますと、容易に折れたり曲がったりして重大な事故の原因になります。

## 3. 運ぶときは

⚠️ 注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引張らないで下さい。

製品に亀裂があり、使用中に折れて転落の恐れがあります。



⚠️ 注意 持ち運ぶときは、引きずつたり投げたり乱暴に扱わないで下さい。

乱暴に扱うと、変形やヘコミ、破損の原因になります。

# 安全のために、必ず守っていただきたいこと

## 4. 設置する場所について

**△危険** 設置するときや持ち運ぶ時は、配電線に注意して下さい。

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

**△警告** 作業台が安定しない場所には、設置しないで下さい。

設置場所が下記の状態では、作業台が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- 軟らかい地面や床で、作業台が安定しない場所。
- 段差があつたり、凸凹があつて安定しない場所。
- 作業台がガタツク場所。
- 傾斜している地面や床、屋根の上。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。

**△警告** 作業台が滑りやすい場所には設置しないで下さい。

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床、タイル、鉄板の上。
- 濡れている地面や床。
- 積雪や凍結している場所。
- 砂、ゴミ、ホコリ、落葉等で滑りやすい地面や床。
- その他、滑りやすい場所。

**△注意** 人の出入口やドアの前には設置しないで下さい。

出入りする人や開けたドアで、作業台が倒されて転倒や転落の恐れがあります。



**△注意** 雨の中や、風の強い場所には、設置しないで下さい。

濡れた踏さんや天板で滑ったり、強い風を受けて身体のバランスを崩して、転倒や転落の恐れがあります。

**△注意** 足元や周囲がはっきり見えない暗がりに、設置しないで下さい。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かない事が原因で、転倒や転落の恐れがあります。

**△警告** 作業台の水平を確保し傾斜地での使用は避けて下さい。

# 安全のために、必ず守っていただきたいこと

## 5. 作業台を設置するとき

⚠ 警告 作業台を背にして登り降りしないで下さい。

⚠ 警告 作業台を高くするために支柱にパイプや木等をつないだり、台や箱の上に乗せたりしないで下さい。また、天板の上に箱や椅子等を乗せたりしないで下さい。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して転倒や転落の恐れがあります。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 警告 身体の安定が得られないような荷物を持って登り降りしないで下さい。

バランスを崩し、転倒や転落の恐れがあります。

## 6. 登り降りや作業をするとき

⚠ 警告 局部に荷重をかけないで下さい。

⚠ 警告 同時に2人以上乗らないで下さい。

⚠ 警告 作業台から横に身体を乗り出して、作業をしないで下さい。

作業台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 警告 作業中、作業台の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないで下さい。

無理に押したり引いたりすると、反動で作業台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



身体を乗り出すとバランスを崩して、転倒や転落の恐れがあります。

# 安全のために、必ず守っていただきたいこと

---

⚠ 警告 作業台を加工、改造しないで下さい。

⚠ 警告 作業台から他への乗り移りは、しないで下さい。

⚠ 警告 作業台での作業で上ばかりに気をとられて足を踏み外さないようにして下さい。

⚠ 警告 天板の上で脚立、はしごを使用しないで下さい。

⚠ 警告 荷を載せたまま作業台を移動しないで下さい。

⚠ 警告 静かに登り降りし、天板踏さんから飛び降りたりしないで下さい。

降りるときは、最下段の踏さんまで使って静かに降りて下さい。

⚠ 警告 荷を載せたまま、脚調節（高さ調節）をしないでください。

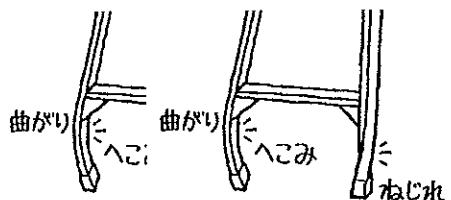
# ご使用前の点検（日常点検）

本製品をお使いになる前は、下記の点検を行い異常のないことを確認して下さい。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用して下さい。

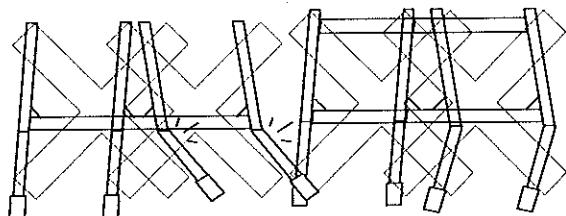
## 1. 目で見て点検

① 踏さん、天板にグリース、油、泥、雪、ペンキ、水等、滑りやすいものが無いか確認し、付いている場合はきれいに拭き取って下さい。

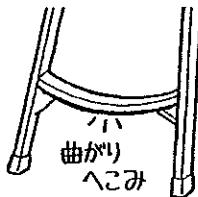
② 支柱に曲がり、ネジレ、ヘコミがありますか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。



③ 伸縮脚に図のような曲がりがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。



④ 踏さんに曲がり、ヘコミがありますか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。



⑤ 天板に曲がり、ヘコミがありますか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。

⑥ リベット、ねじ、ピン等のゆるみや、抜け落ちはありませんか。ある場合は、使用しないで下さい。

⑦ 各部の接合部に割れや著しい腐食はありませんか。また、取付部品の破損、脱落、変形、摩耗、著しい腐食はありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。

⑧ 支柱端具がすり減ったり、外れていますか。ある場合は、絶対に使わないで下さい。必ず弊社までご相談いただき、新しい支柱端具と交換して下さい。

# ご使用前の点検（日常点検）

## 2. 伸縮脚と脚調節装置の点検

- ① 伸縮脚のストッパーピン挿入穴に泥・ペンキ・モルタルなどがついていないか確認し、ついている場合は完全に取り除いてください。取れない場合は絶対に使わないでください。
- ② 伸縮脚のストッパーピン挿入穴に凍結や雪で目づまりを起こしていないか確認し、目づまりをしている場合は完全に取り除いてください。取れない場合は絶対に使わないでください。
- ③ 伸縮脚のストッパーピン挿入穴に割れ・キレツがないか確認し、ある場合は絶対に使わないでください。
- ④ 脚調節装置のストッパーピンがスムーズに動くか確認し、動かない場合は絶対に使わないでください。
- ⑤ 伸縮脚がスムーズに動くか確認し、動きが悪い場合は支柱と伸縮脚の間の泥・砂等の異物を完全に取り除き、支柱と伸縮脚の間に機械油・潤滑油スプレーを注油してください。それでも動きが悪い場合は絶対に使わないでください。

## 3. 触って点検

- ① 各段の踏さんをねじってみて、ガタガタしてないか点検して下さい。ガタガタしている場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。



- ② 全体を揺らしてガタツキがありませんか。ガタツキがあるときは、接合部のゆるみや外れが考えられますので、絶対に使わないで廃棄して下さい。



## 設置場所について

---

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また、作業台が埋もれない場所を選んで設置して下さい。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置して下さい。
- 作業台の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に、設置して下さい。
- 床の凹凸、開口部による事故のないように注意してください。
- 設置後は作業台にガタツキがないか確認し、ある場合は、作業台の位置を移動してガタツキなどを取り除いて下さい。

**△ 注意** 人が通行する場所に設置するときは、通行する人がつまずいたりしないよう設置場所に十分注意して下さい。

# 作業台の使い方

手順を厳守しないと死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

## 1. 伸縮脚の伸ばし方と縮め方

### <伸ばし方>

- ① 脚調節装置のストッパーpinを起こします。

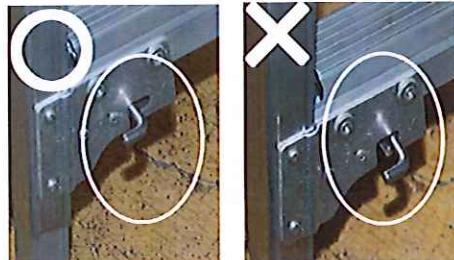


- ② 踏さんを下から手で持ち上げて、ストッパーpinを内側へ引くと、伸縮脚が伸びてきます。



- ③ 伸縮脚がストッパーpinでロックされるところで手を離してください。

- ④ ストッパーpinのロックを確認してください。



- ⑤ そのまま地面に設置してください

- ⑥ 設置の際、水平に設置されているか、ガタつきは無いか確認してください。

- ⑦ 脚調節装置のストッパーpinを戻します。



### <縮め方>

- ① 脚調節装置のストッパーpinを起こします。



# 作業台の使い方

- ② 片手で踏さんを持ち上げながらストッパーピンを内側へ引き、片手で伸縮脚を持って縮めてください。



※ 伸縮脚を縮める際、片側の伸縮脚は地面につけたままで倒れないようにしてください。

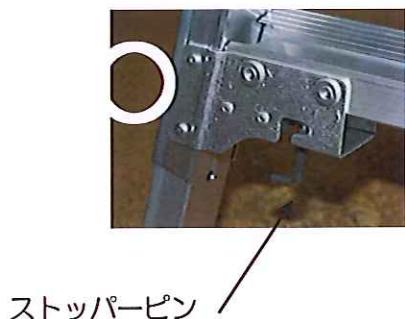
※ 使用後は伸縮脚を絶対に縮めてください。伸縮脚の破損、曲がりにつながる恐れがあります。

- ③ 脚調節装置のストッパーピンを戻します。



## 2. 登りかた・降りかた・作業のしかた

- 登る前に必ず伸縮脚の脚調節装置が確実にロックしていることを確認して下さい。



- 安全靴等、滑りにくい履物を履いて下さい。

- 身体の前面を昇降面に向け、慎重に登り降りして下さい。

- 荷物があるときは、背中に背負う等して両手を使えるようにして下さい。

- 降りるときは、1段づつ踏さんに足をかけ最下段の踏さんまで使って慎重に降りて下さい。

- 作業中に作業台を移動させるときは、作業台から一旦降りてから移動して下さい。

# 使用後のお手入れと保管のしかた

## 1. お手入れのしかた

本製品にとって泥、汚水、セメント、石灰、海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

### 〈掃除のしかた〉

- ① 汚れは濡れ雑巾などで、きれいに拭き取って下さい。
- ② 汚れが著しい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③ 油系の汚れは、クリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないようにきれいに拭き取って下さい。

**△ 注意** クリーナーや洗剤をつけたままにしていますと、腐食の原因になります。

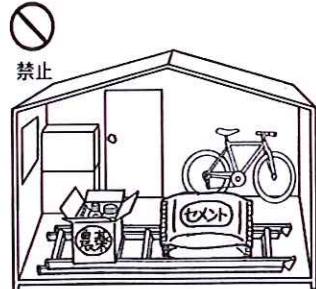
## 2. 保管のしかた

① 雨や直射日光の当らない風通しの良い乾燥した場所を選んで、保管して下さい。

② 本製品が濡れている時は、十分に乾燥させてから保管して下さい。

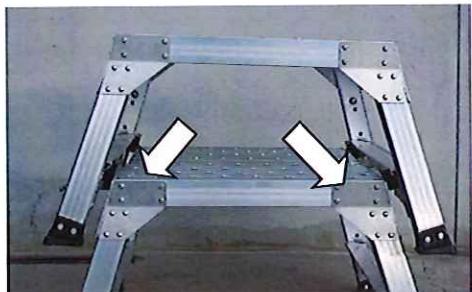
**△ 注意** 保管中は、本製品の上に物を置かないで下さい。変形の原因になります。

**△ 注意** 農薬やセメント、石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起して腐食の原因になりますので絶対に置かないで下さい。



### 〈収納〉

緩衝材が天板に当るよう（下図）に積み重ねてください



# 故障かな？と思ったら（不調診断）

## 〈現象〉使った時にグラグラする

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏さんの接合部にゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱と天板の接合部にゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。

## 〈現象〉脚調節装置が確実にロックできない。

### 伸縮脚がスムーズに動かない

点検する箇所	処置のしかた
支柱や伸縮脚に変形がありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
ロック部の機能がそこなわれるような破損や変形、サビがありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱の内側や伸縮脚に、泥やモルタルが付着していませんか。	ある場合は使わないで、清掃を行い再度確認してください。

## 〈現象〉大きくガタガタしている

点検する箇所	処置のしかた
全体が大きく変形していませんか。	変形している場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱、踏さん及び天板に曲がりヘコミなどの変形はありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱端具が外れていたり、摩り減ったりしていませんか。	外れていたり、摩り減っていたりしている場合は使わないで、弊社までご相談ください。

# 故障かな？と思ったら（不調診断）

〈現象〉伸縮脚が動かない。

点検する箇所	処置のしかた
伸縮脚が曲がっていませんか。	曲がったものは使わないでください。廃棄して下さい。
伸縮脚と支柱の間に泥、砂、ペンキ、モルタル小石が付着していませんか。	異物を完全に取り除き、支柱と伸縮脚の間に機械油・潤滑油スプレーを注入し、それでも動きが悪い場合は廃棄してください。
伸縮脚と支柱の間が凍結していませんか。	

〈現象〉伸縮脚がロックできない。

点検する箇所	処置のしかた
伸縮脚のストッパーイン挿入穴に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石が付着していませんか。	ストッパーイン挿入穴の目づまり（異物）を完全に除去してください。又、取れない悪い場合は使わないで廃棄してください。
伸縮脚のストッパーイン挿入穴に凍結や雪による目づまりしていませんか。	
伸縮脚のストッパーイン挿入穴が欠けたり、キレツが入ったりしていませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄して下さい。

〈現象〉脚調節装置のストッパーインが動かない。

点検する箇所	処置のしかた
脚調節装置部に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石がはいりこんでいませんか。	ある場合は異物を完全に取り除き、機械油・潤滑油をスプレーしてください。それでも動きが悪い場合は使わないで廃棄してください。

# MEMO

---

# MEMO

---



株式会社 **ナカオ**

〒750-0322 山口県下関市菊川町樅崎1278-1

TEL:083-287-1231 FAX:083-287-1201

お客様相談窓口（総務室） TEL:083-287-1231

<http://www.k-nakao.co.jp/>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

R-637